

## 森林鉄道遺構巡り(10/28)

遠野にかつて森林鉄道が走っていたことは知っていたが、それまでであった。

7月のある日、(一財)遠野市教育文化振興財団からの電話で、森林鉄道の跡を巡る企画の講師依頼を受け正直困ったが、森林鉄道や遠野の歴史を知る良い機会と捉え快諾した。

前任者が精力的に調査・研究していたので相談すると、現地が分からないだろうからと遠路はるばる駆けつけてくれた。これにより、大まかな枠組みは決まったので、あとはどんな資料で何を説明するか。資料は後に示す通りのものがすぐに揃ったので余裕をかましてみると、募集が始まるとすぐに定員となり開催が迫っている。

参加の動機は、鉄道ファン、文化への関心、地域振興のヒント探しなどいろいろのようである。僅かな座学に続く現地巡りでは、レールを今も利用している現場、民有地との境界が鐵道敷の目印となっている場所、山奥に静かに佇む橋脚や橋台などを訪れプチ探検気分を味わえたのではないかと。

今回は行かなかったが、国有林の奥にはまだ正確に把握できていない遺構があり、下見でも橋台を発見したところである。しかし、クマの出没、道迷い等の危険が伴うのでくれぐれも一人で「探検」しないでほしい。

今後は、他の地域での地域振興への活用例等を参考にしながら、出来る範囲の活用を皆さんと考えていきたいと思う。

支署長 山田 亨



森林鉄道  
遺構巡り



令和3年10月28日  
岩手南部森林管理署  
遠野支署 山田亨

当日資料は以下リンク先参照

[https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/tono/osirase/20211028\\_shirintetudo.pdf](https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/tono/osirase/20211028_shirintetudo.pdf)